川辺小だより 開校記念日号

春日部市立川辺小学校
令和元年９月６日

進んで学び考える子（知恵いっぱい）　思いやりのあるやさしい子（笑顔いっぱい）　元気でねばり強い子（元気いっぱい）

川辺小ホームページ　http://www.kawabe.av-center.kasukabe.saitama.jp/

開校当時に思いを寄せて・・・・　９月９日は開校記念日

校長　鈴木　美江

２学期が始まり、１週間が過ぎました。夏休みの生活から、脳も体も学校中心の生活に切り換え、子供もたち一人一人に明確なめあてをもたせ、１学期以上の成果が得られるよう指導の充実を図って参ります。

****

さて、９月９日は、本校の『開校記念日』です。明治７年（１８７４年）の開校から１４５年目を迎えます。本校の沿革史を紐解き、開校当時の様子に思いを巡らせてみました。沿革史の始まりはこうでした。

川邉小學校沿革誌
一、沿革ノ大要
　１．明治七年十二月永沼水角聯合ニテ永沼學校ヲ開設
　　明治八年八月分離シテ水角學校（永喜寺）ト称し同十六年赤崎東福寺跡ニ分教室ヲ設ケ後又中野歓喜院ニ下柳學校分教室ヲ設ケタリシガ同二十二年五月右水角赤崎中野ノ三校ヲ合併シテ中野歓喜院ニ設ケ川邉尋常小學校ト称ス
　２．明治二十三年十二月十九日教育ニ関スル勅語謄本下賜セラル
　３．明治三十五年九月九日現地（大字米島七五六）ニ新築シタル校舎ニ移轉ス

明治７年は、明治５年に発布された学制を受け、川辺小の前身となる永沼学校が創立しました。この後、永喜寺に水角学校、赤崎東福寺跡に分教室、中野歓喜院に下柳学校分教室が次々と設けられます。そして、明治２２年に、これら３校が合併し、川辺尋常小学校となります。ここで、初めて「川辺」という名が学校名に位置付きます。

その後、明治３５年9月９日に米島７５６番地（現在の場所）に学校が移転します。そこで、この日が開校記念日となったのです。市町村は川辺村、庄和町、春日部市などと変遷しますが、大字以下の住所「米島７５６番地」は、１１７年間ずっと同じままなのです。

川辺小学校は、明治７年、日本という国が世界に向けて大きく動き出した時期に開校し、１４５年という長きにわたって歩み続け、たくさんの卒業生を送り出してきました。その数、実に１０，４４８名。その多くが地域や各界各分野において活躍中です。そして、今なおたくさんの方々が、学校に自分の子供が通っていようがいまいが、小学校がよくなること、子供がよくなることが、地域がよくなることと捉え、多くのご支援をいただいております。川辺小学校は、「歴史と伝統・地域に支えられた学校」なのです。

開校記念日は、様々な思いや願いを再確認する日であり、よき伝統と校風を育て、次の世代へと受け渡していくために、勉強や運動に頑張るという誓いをする日でもあります。川辺小学校は、これからも子供の変容を通して、感謝の気持ちを伝え続けて参ります。今後も、健やかな子供の成長のためにお力添えくださるようお願い申し上げます。

６６～６３年前の川辺小学校

○地域の方より写真をご提供いただきました。何枚かの写真には裏にメモ書きがありましたので、「　」で併せてご紹介いたします。

６５年前（1954・昭和 29 年）
学芸会か誕生日会でしょうか？

６６年前
（1953・昭和 28 年）
「七五三」ということは１年生？

６３年前（1956・昭和 31 年）

６３年前（1956・昭和 31 年）
「４年生の終わり」ということは、
現在７３歳になられています

６５年前（1954・昭和 29 年）
「入って右側は職員室」
「学校の裏は雑木林」の説明

☆お願い☆
毎年の開校記念日号では、写真等で学校の歴史を紹介しています。川辺小学校の歴史や伝統を感じることができる写真などがありましたらお貸しください。
＜連絡先＞川辺小学校　教頭　　鷲林　潤壱（℡７４６－０００９）

☆これからも歌い継がれていく校歌

一　伸びゆく世代に　うまれきて　自然と人との　みめぐみに
　　学びの道を　進むなる　われらが幸ぞ　極みなき

二　春野にももの　美わしく　秋田のみのり　豊かなる
　　ここぞわが里　まなびやに　友呼び通う　楽しさよ

三　東つくばね　西は富士　江戸の流れに　影清き
　　そのけだかさを　心にて　励まんいざや　もろともに